

題材名 家族と住まいのかかわりを考えよう

目標

- ・生活行為と住空間の関係を理解する。
- ・家族の暮らし方によって、住み方が異なることがわかる。

学習項目	学習活動・内容	教師の支援	ソフトウェアの利用等
1 生活行為と住空間の関係を知る。	<p>○住まいの図を見ながら、どこで何をやるのか、考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> 入浴、洗面、排せつ、調理、洗濯、アイロンがけ、裁縫、食事、休養、だんらん、就寝、仕事、勉強、休養、出入り、通行、収納など </div> <p>○生活行為と住空間の関係について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> ・生理・衛生の空間、・家事の空間、・家族共有の空間、・個人の空間、・その他の空間 </div>	<p>・一般的な住まいの図を見せ、玄関から入って、それぞれの部屋を通っているつもりになって、どんな行為を行っているのか、発表させる。</p>	<p>・一般的な住まいの3D図を見せて興味を持たせる。</p> <p>・発表している生徒に合わせて、図を提示する。ウォークスルー(※)機能を使って、歩いてみる。</p> <p>・必要ならば、図をプリントアウトして使用する。</p>
2 家族が暮らしやすい住まい方の工夫を考える。	<p>○想定家族を設定し、どういう住まい方がいいか、間取りを考える。</p>	<p>・高齢者、乳幼児、障害者等にも配慮した間取りになるように、想定家族をいくつか提示する。班で想定した家族について、間取りを選ばせ、暮らし方を考えさせる。</p>	<p>・サンプルの間取りから、1つ間取りを選び、作成する。</p>
3 快適な住まい方になっていくか検討する。	<p>○想定家族が暮らしやすい住まい方になっているか、発表し、他の班と検討しあう。</p>	<p>・暮らし方に合わせて、簡単な家具の配置をさせる。</p> <p>・住まいの基本的な機能を果たしているとともに、だんらんの場所、プライバシーの配慮、高齢者、乳幼児、障害者への配慮ができるかを考えさせる。</p>	<p>・簡単な家具の配置をする。</p> <p>・ウォークスルー機能を使って、中を3Dで歩いてみてもよい。</p> <p>・発展的に、新規作成モードで、始めから間取りを作成することもできる。</p>